

① 学習指導案

プログラム	No. 05 「 地域カルタをつくろう 」
単元名 (全10時間)	「佐伯のすてき」をカルタにしよう。
学習のねらい	自分たちで見つけた「佐伯のすてき」な「人・もの・こと」をカルタにして、伝える。
学習内容	1 佐伯小の周辺（城山・山際通り、歴史資料館）を探検して、「佐伯のすてき」を見つける。 2 佐伯の郷土の料理を伝える方（佐伯食育推進協議会の方）との交流 3 佐伯小の4年生から、「佐伯市の魅力」を聞く。（佐伯の魅力新聞から） 4 菌ちゃん野菜づくり（佐伯市の取り組みの一つ）に挑戦する。（1年間） 5 自分が選んだ「佐伯のすてき」をカルタにする。
参考資料	佐伯小周辺の探検の記録（ワークシート）や写真 佐伯小4年生の作成した「佐伯の魅力新聞」 佐伯の郷土の料理を伝える方のお話

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 2 3	佐伯小学校の周辺を探検してすてきだと思った「人・もの・こと」や場所を見つける。	佐伯小学校の周辺（城山、山際通り、歴史資料館）を探検して、ワークシートに記録させる。	自分が佐伯小の周りで、一番すてきだと思った「人・もの・こと」を積極的に見つけようとしている。
4 5	グループで、自分が見つけた「佐伯のすてき」をグループで交流する。	グループの中で、自分の見つけた「佐伯のすてき」を出し合わせ、「すてき」と思った理由について交流させる。その後、「一番すてきと思うこと」を選ばせ、ワークシートに書かせる。	「佐伯のすてき」の理由を交流する中で自分では見つけられなかった「佐伯のすてき」や「すてきと思う理由」について気づいている。
6 7	郷土料理を佐伯の郷土料理を伝える方（佐伯食育推進協議会）に自分たちが見つけた「佐伯のすてき」を伝える。	佐伯の郷土料理の魅力を伝えている方に自分たちの見つけた「さいきのすてき」を話させる。自分たちが育てている「菌ちゃん野菜」を郷土料理の材料の一つになることに気づかせる。	自分たちが見つけた「佐伯のすてき」を地域の方に伝えている。自分たちが育てた野菜が「佐伯のすて








	<p>8 佐伯市の魅力について、佐伯小の4年生に聞く。</p>	<p>4年生の新聞を使ったプレゼンテーションを見て、自分たちの知らなかった「佐伯市の魅力」があることに気づかせるとともに、プレゼンテーションの仕方についても学ばせる。</p>	<p>き」の一つになることに気づいている。</p> <p>佐伯市全体を見わたした「佐伯市の魅力」について、積極的に知ろうとしている。</p>
<p>9 10</p>	<p>一年間で見つけた「佐伯のすてき」をカルタにする。</p>	<p>自分が選んだ「佐伯のすてき」をカルタにさせる。</p>	<p>これまでに見つけた「佐伯のすてき」や「佐伯のすてきに関わることがら」を積極的にカルタにしようとしている。</p>

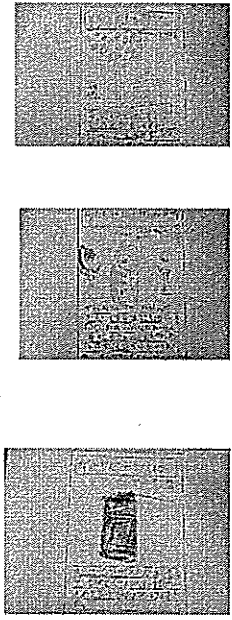
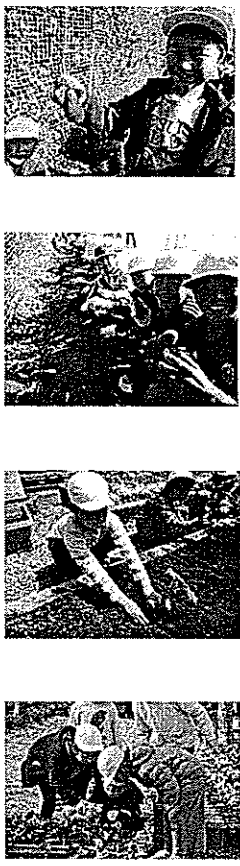
<留意点>


- 一人一人が見つけた「佐伯のすてき」をカルタで表現させる時に、友だちや他学年が見つけた「佐伯のすてき」についても目を向けさせる。
- 目に見える「すてき」だけでなく、自分を支えている人（家族や友だち、地域の人）の「すてき」にも気づかせる。

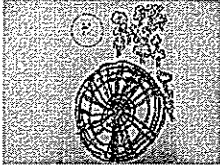
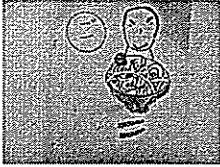
② 事業実施報告書詳細

学校名 佐伯市立佐伯小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
3	<p>佐伯小 周辺 城山 山際通り</p> <p>歴史資料館</p>	<p>佐伯小周辺を探検して「佐伯のすてき」さがしをする。</p> <p>佐伯小の前にある観光案内板 櫓門 佐伯文化会館 城山 国木田独歩館 佐伯の観光館の広場 武家屋敷の土塀 面づくり 寺社 井戸 ポスト 武家屋敷の石畳</p> <p>歴史資料館の方に「佐伯の昔」が分かる資料や佐伯市の人が古くから大切にしているものを見せてもらい、話を聞く。</p>	      	<p>佐伯小のまわりを歩き、普段は何気なく通り過ぎる場所に佐伯の人々が大切にしているものがたくさんあることに驚き、興味をもって話を聞いていた。</p> <p>佐伯小の近くに歴史資料館があることをはじめて知り、そこに「佐伯の宝物」が大切に保管されていることを知った。 二年生にとって、学芸員の方の話は難しいところもあったが、興味をもって見学した。</p>

2	佐伯小 ふれあい 広場	一人一人が見つけた 「佐伯のすてき」を 交流して、絵や文で 表す。		友達同士で交流する 中で、自分が見つ けたものとはちが う「佐伯のすて き」を発見した。 「佐伯のすてき」 を選んだ理由や子 どもたちの驚きを ワークシートの記 述から伺うことが できる。
2	佐伯小 家庭科室 ふれあい 広場	<p>佐伯の郷土料理を伝え る方(食育推進協議会 の方)に教えてもら う。</p> <p>自分たちで育てた野菜 を使った郷土料理・石垣 もちを作る。</p> <p>佐伯市の町おこしの活 動の一つである「菌ち ゃん野菜づくり」に関 わる自分たちの取り 組みについて、郷土 料理のすばらしさを 伝える地域の方々に 伝える。</p>		<p>自分たちが育てた 野菜で石垣もちな どの郷土料理がで きることを知って 喜んだ。</p> <p>食育推進協議会 の方やお家の人と いっしょに石垣も ちを食べる時に、 「佐伯のすてき」 をカルタにするこ とを伝えた。</p>

		<p>自分達が育てた野菜を使った石垣もちを地域の方やお家の人と一緒に食べる。</p>		
<p>1</p>	<p>佐伯小 ふれあい 広場</p>	<p>4年生から「佐伯市の魅力」について、新聞を使ったプレゼンテーションを聞く。</p>		<p>自分たちがこれまでに見つけた「佐伯のすてき」のほか、佐伯市には、様々な魅力のある場所があることを知った。</p> <p>やってみたいことや行ってみたいところを探して、友達同士で、カルタにしてみたい「佐伯のすてき」を考えました。</p>

2	佐伯小 教室	「佐伯のすてき」の カルタづくりをする。	    	<p>○「さいきのすてき」カルタを作ることができて、家の人にカルタを見せて伝えようと話していた。</p> <p>○読みふだの言葉を考えることを難しく感じる子どもがいたが、多くの子どもは楽しんでいた。</p> <p>○4年生が「佐伯のすてき」の手本を新聞で示してくれたので、子どもたちは自分で納得のいく絵を描くことができて、うれしい気持ちになった。</p>
---	-----------	-------------------------	---	---

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

低学年の子どもの見つける「佐伯のすてき」は、指導する側の意図とは違った視点のものが多く含まれていました。探検をする時に、総合的な学習の時間に取り上げる「佐伯小学校の周辺の魅力」の視点で、2年生の子どもたちに話をしました。しかし、それにしぼられると、低学年ならではの枠にとらわれない物の見方が失われると考えて、自由に「佐伯のすてき」を探させました。

4年生が総合的な学習の時間で、「佐伯市の魅力」について、壁新聞で表現していましたので、2年生が知らない「佐伯のすてき」を知らせたいと考え、4年生にプレゼンテーションによる「佐伯市の魅力」を発信してもらいました。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

子どもたちが見たものを絵で表現することが、こちらが考えている以上に難しいこともあり、カルタとして表現するのは、2学期の後半の時期になりました。

#### (3) 児童の反応

子どもたちは、自分たちのカルタを使って、「佐伯のすてき」を伝えよう、広げようという意識は、中学年以上の子どもたちのようには持っていなかったと思います。

しかし、自分は「佐伯」や「自分の身のまわり」にどんな「すてき」があるのかを意欲をもって探しました。また、自分たちが一年を通じて取り組んでいる「菌ちゃん野菜作り」も「佐伯のすてき」の一つになり、地域の人と関わるきっかけになりました。一つ一つの取り組みの意義を考えるよりも、2年生の子どもたちは活動そのものを体中で楽しんでいました。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

年間の指導計画の中、どの時期にどのような活動を組み込んでいくのがよいのかを子どもの実態、学校の様々な行事との兼ね合い、指導する環境等を予測した上で、長期的に計画を立てていくための貴重な経験をすることができました。

#### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

自分が今後担当するであろう学年の発達段階を考えて、長期的な学習の計画を立てることが必要です。

子どもの発想や願いを大切にしたい柔軟な学習計画をしたいです。